

選択したシラバスのプレビュー画面です

平成27 年度

[操作ボタン](#)

講義科目名称 : 国際社会学概論

授業コード : 52038

英文科目名称 : ---

開講期間	授業形態	単位数	科目必選区分
前期	講義	2単位	
曜日・時間			
前期: 金曜2限			
配当学科・学年			
人社2			
担当教員			
岡島 克樹			

授業テーマ	現在、世界では何が起こっているのか、日本と世界、とくに途上国と呼ばれてきた国々とはどのようにつながってきたのか、そこから何が学べるのかを考える。
講義概要	1990年代以降「グローバル化」ということが日本でもさかんに言われるようになってきている。この「グローバル化」とは何かを考えることなしに、本学部が探究する「人間」とは何か、「社会」とは何かという問いを考えることは困難である。なぜなら、「グローバル化」とは、近代以降、現代にいたるまで、世界がどのような構造的な変化を遂げてきたのかに関するものであり、近代を問い直し、そこからわれわれが生きている現在を考えることを強いるものだからである。そのため、本講義では、とくに人とモノの越境的移動の現状について学びながら、それが先進国・途上国の生活や産業にどのような影響を与えているのかを考える講義を行う。
到達目標	(1) グローバル化とは何かについて、さまざまな観点から説明することができる。 (2) グローバル化に対する国内的な取組の概要を理解する。
評価方法	(1) 前期末テスト (70%) (2) 外部講師来訪時に課す小レポート (2~3本) (30%)
評価基準	(1) グローバル化の定義や諸性質、類似概念との相違について理解し、その理解を整理して書くことができる。 (2) グローバル化の具体的な諸影響とそれらに対する日本国内での対応 (食や職の安全や多文化共生社会への取組等) について基本的な知識を有し、これについて自身の考えを述べることができる。
テキスト	なし
参考書	必要に応じて紹介する。
履修上の注意	(1) 「地域研究実習」でカンボジアスタディツアーに出かける学生にとって本講義はスタディツアーの事前学習の一部をなすものである。そのため、スタディツアーへの参加を希望している学生は本講義をかならず履修するようにしてください。 (2) 貿易ゲームなど、参加型学習手法を用いて授業を行う回もある。自分がグループに対して有する責任を自覚し、真摯に取り組んでください。また、参加型の学習手法を用いる回は教室が異なることがあるので、その際は掲示板を注意してみてください。 (3) 本講義では、ある難民問題や多文化共生等について実際に現場で活動される方を外部講師として招き、レクチャーを行っていただくことがある。その際は、その外部講師の方のスケジュールによってシラバスに書かれた授業の内容が前後することがあるので、あらかじめ了解しておいてください。
準備学習	外部講師による授業の際には、レポート課題を出すので、自宅で取り組み、次回の授業に提出するようにしてください。
オフィスアワー等	授業後の時間を利用して質問等に対応する。また、毎回の授業終了に感想表への記入・提出をお願いするので、クラス全体にとって重要だと思われる質問が出た際には、次の回にこれを紹介し、受講者全員にフィードバックする。
備考・メッセージ	

授業計画					
回数	授業形態	担当教員	授業内容	到達目標	
1	講義	岡島	オリエンテーション	本講義全体の学習到達目標やスケジュール、ルールなどが理解できる	
2	講義	岡島	グローバル化の定義とその多様性に関する講義	本講義担当者およびその他の研究者によるグローバル化の定義について理解できる	
3	講義	岡島	モノをつうじたつながりー参加型学習の実践 (その1)	グローバル化のなかで生起していることをもっとも身近な「食」をつうじてより具体的に実感することができる	
4	講義	岡島	モノをつうじたつながりー参加型学習の実践 (その2)	グローバル化のなかで生起していることを、もっとも身近な「食」をつうじてより具体的に実感することができる	
5	講義	岡島	モノをつうじたつながりービデオ視聴と議論	グローバル化のなかで生起していることを「貿易」をつうじてより具体的に実感することができる	
6	講義	岡島	モノをつうじたつながりーふりかえりと講義	グローバル化のなかで生起していることを「貿易」をつうじてより具体的に実感することができる	
7	講義	岡島	人をつうじたつながりー難民問題に関するビデオ視聴と解説	グローバル化のなかで生起していることについて、「人の移動」を切り口にしてより具体的に実感することができる	

8	講義	岡島	人をつうじたつながり—難民問題に関する活動事例の紹介・難民申請者との対話（外部講師）	グローバル化のなかで生起していることについて、「人の移動」を切り口にして一層具体的に実感することができる		
9	講義	岡島	多文化共生社会への取組—政府と自治体の政策動向	グローバル化のなかで生起していることについて、「人の移動」を切り口にして一層具体的に実感することができる		
10	講義	岡島	多文化共生社会への取組—教育界の取組紹介	グローバル化のなかで生起していることについて、「外国人市民」「学校」を切り口にして一層具体的に実感することができる		
11	講義	岡島	多文化共生社会への取組—NPOの取組紹介（外部講師）	グローバル化のなかで生起していることについて、「多文化共生」を切り口にして一層具体的に実感することができる		
12	講義	岡島	グローバル化と国際協力—国際協力の主要アクター（ODAの取組）	グローバル化のなかで生起していること、またそれに対する取組について、ODAを切り口にして一層具体的に実感することができる		
13	講義	岡島	グローバル化と国際協力—国際協力の主要アクター（NGOの取組）	グローバル化のなかで生起していること、またそれに対する取組について、NGOを切り口にして一層具体的に実感することができる		
14	講義	岡島	グローバル化と国際協力—国際協力の主要アクター（企業のCSR活動）	グローバル化のなかで生起していること、またそれに対する取組について、CSRを切り口にして一層具体的に実感することができる		
15	講義	岡島	総括（学習到達目標の確認ならびに補足的説明）	本講義全体をつうじた学習到達目標がどのくらい達成できているのかが理解できる。 今後、学びを深めるためにはどのようなアクションが必要か、系統だって考えることができる。		

授業方法

学習方法	場所	教員数(補助者数)	教科書以外の教材など	時間(分)
------	----	-----------	------------	-------

閉じる